

都市内における集配車両減車の取組事例

資料5



～京福電気鉄道株式会社とヤマト運輸株式会社が実施している路面電車を活用した取組～

＜平成26年度交通関係環境保全優良事業者大臣表彰事例＞

京都嵐山地域周辺における宅配便の集配作業において、路面電車とリヤカー付き電動自転車を利用し、集配車両を減車することによって、CO2排出量を約30%削減した。

（取組みの概要）

■ヤマト運輸の物流ターミナルから営業所へ大型トラックで宅配便を輸送し、そこから2tトラックなどに積み替え配達していたものを変更し、**路面電車（京福電鉄嵐山線）の車両を1両貸し切り、集配用コンテナを搭載した台車ごと電車に積み込んで輸送。**

■各駅で台車を降ろし、そのままリヤカー付き電動自転車・台車・電動自動車に荷物を移して、集配。

■トラック車両の減車により、**CO2排出量を実施前との比較で約30%削減。**街中での駐停車がなくなり、**渋滞を緩和。**

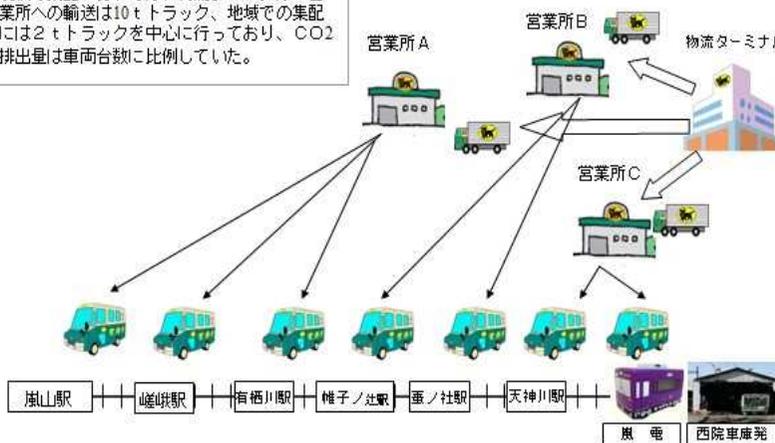


路面電車を利用したモーダルシフト



嵐電沿線におけるCO2削減策の実施前

現状の集配においては、物流ターミナル～営業所への輸送は10tトラック、地域での集配には2tトラックを中心に行っており、CO2排出量は車両台数に比例していた。

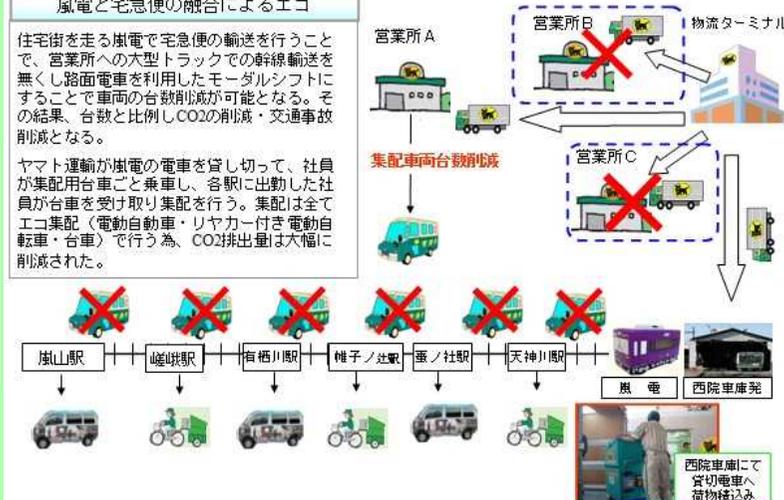


取組み前

嵐電と宅急便の融合によるエコ

住宅街を走る嵐電で宅急便の輸送を行うことで、営業所への大型トラックでの幹線輸送を無くし路面電車を利用したモーダルシフトにすることで車両の台数削減が可能となる。その結果、台数と比例しCO2の削減・交通事故削減となる。

ヤマト運輸が嵐電の電車を貸し切って、社員が集配用台車ごと乗車し、各駅に出勤した社員が台車を受け取り集配を行う。集配は全てエコ集配（電動自転車・リヤカー付き電動自転車・台車）で行う為、CO2排出量は大幅に削減された。



取組み後